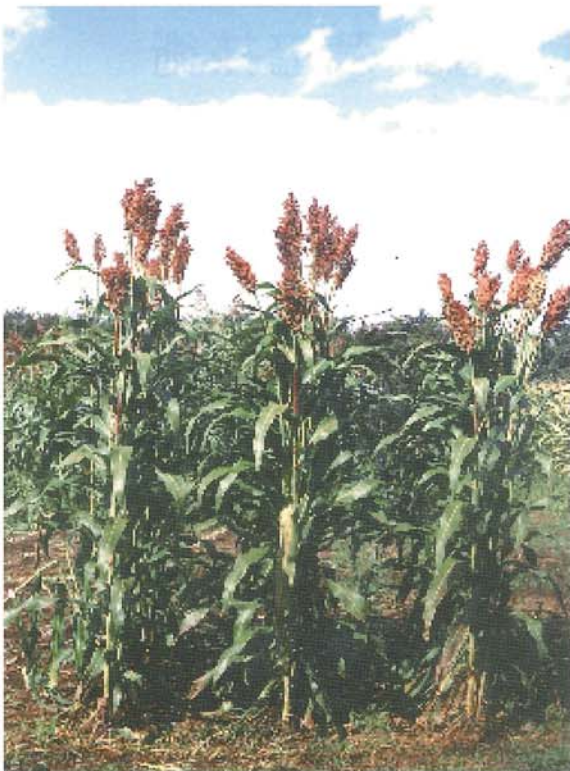


ソルゴタイプのソルガム は づき

早生品種・兼用型

葉月

散播密植栽培で高品質なロールベールサイレージが作れる



葉月の草姿

栽培適地

寒冷地南部～中部地域の標高 1000m

以下の地帯。温暖地・暖地でも栽培可能

表 「葉月」の主要特性(糊熟期刈)

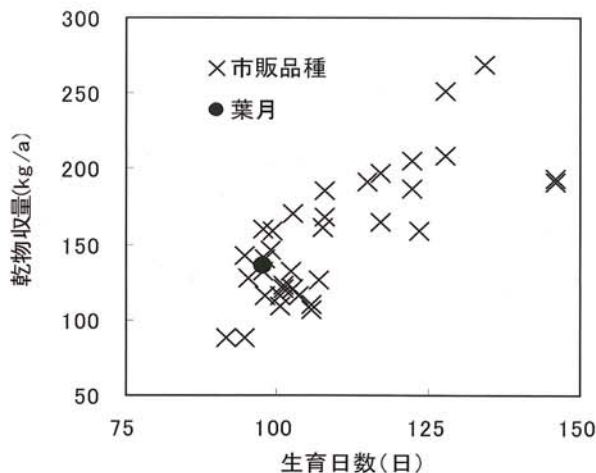
項目	調査場所	葉月
播種～出穂期迄日数(日)	9	70
乾物収量(kg/a)	9	130.2
乾物穂重割合(%)	9	31.2
乾物率(%)	9	31.4
推定TDN含量(乾物中%) ¹⁾	1	68.3
稈長(cm)	9	217
稈径(mm)	9	21

注) 1):ホールクロップサイレージ

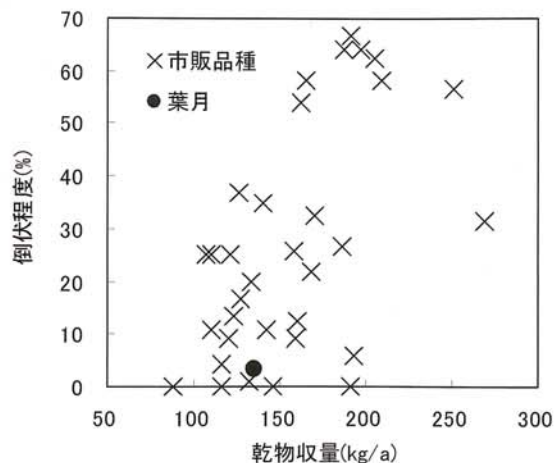
TDN=OCC+Oa+5.34·e0.0334·Ob-8.83

調査場所:関東～九州地方

- ・ 早晚性は早生で、播種後約 70 日（7月下旬頃）に出穂します。
- ・ 高消化性遺伝子を持つために茎葉部の消化性が高く、嗜好性に優れます。
- ・ 同じ生育日数の市販品種に比べて多収です。
- ・ 同じ乾物収量の市販品種に比べて耐倒伏性です。



生育日数と乾物収量との関係
(長野畜試 2004年~2006年)



乾物収量と倒伏程度との関係
(長野畜試 2004年~2006年)

葉月を利用した除草剤を使わない栽培技術

「食の安全」が求められている今、家畜のエサとなる飼料作物の栽培に除草剤はできるだけ使いたくありません。そこで、我が国初の実用高消化性ソルガム「葉月」の除草剤を使わない雑草抑制技術を紹介します。



●技術のポイント

【播種】散播

ロータリ耕起後、速やかに播種します。**遅れると雑草を抑制できません。**
長野県における播種適期は5月下旬~6月上旬、平均気温15℃を目安にします。

【播種量】5~8kg/10a 1m²あたり200個体以上を確保するよう播種量を決定します。播種後はトラクタ等による強めの鎮圧か、浅いロータリを行って出芽・定着数を確保します。

【収穫】出穂期を目途に収穫します。「葉月」は茎葉が柔軟でペール・ラッパ体系にも適しています。また、密植栽培下でも極めて優れた耐倒伏性を発揮します。**刈り遅れないように**注意してください。年2回の収穫が可能です。「葉月」は従来の品種に比べて高消化、高嗜好です。

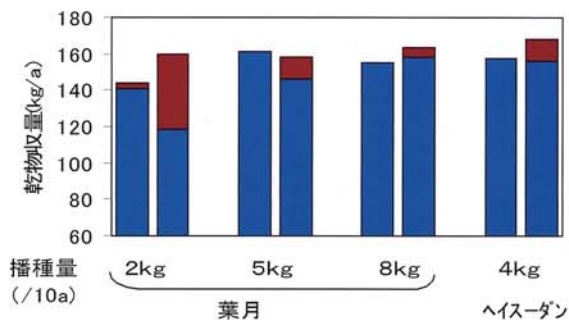


図 葉月とヘイスーダンの散播栽培における播種量と雑草の関係(長野畜試)
■ ソルガム ■ 雑草
左側: 除草剤使用、右側: 未使用

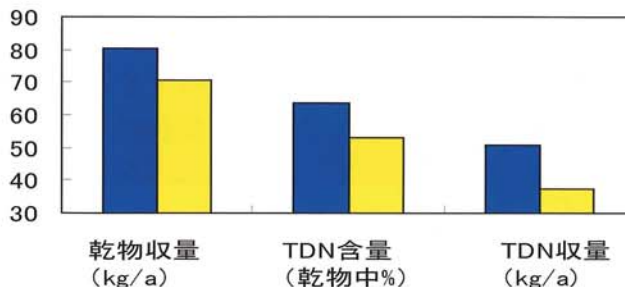


図 葉月サイレージとヘイスーダンサイレージとの1番草の乾物収量と栄養価(畜草研)
(左側: 葉月、右側: ヘイスーダン)

【育成機関】 問い合わせ先:

長野県畜産試験場 飼料環境部
TEL 0263-52-1188 FAX 0263-51-1316